

Citation: Stead LF, Hughes JR. Lobeline for smoking cessation. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 1997, Issue 3. Art. No.: CD000124. DOI: 10.1002/14651858.CD000124.

CRG名: Tobacco Addiction

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 8 January 2009

Clib issue No.; N/U: 2010 issue 3, Updated

背景: ロベリンは部分的ニコチン作用薬であり、禁煙を支援する市販薬の1つとして利用されている。

目的: 本レビューは、長期間の禁煙に対するロベリンの効果を評価している。

検索戦略: Cochrane Tobacco Addiction Group trials registerを検索した(最終検索は2009年1月)。

選択基準: ロベリンと、プラセボまたは代替治療のコントロールを比較したランダム化比較試験。禁煙の追跡が6か月に満たない試験は除外された。

データ収集と分析: 被験者の種類・ロベリンの投与量と剤形・アウトカム指標・ランダム化の手法・追跡の完全性のデータを2人が独立して抽出した。

主な結果: 長期間の追跡を含む選択基準をすべて満たした試験を確認できなかった。

レビューアの結論: ロベリンが禁煙を支援するという、長期試験に基づく入手可能なエビデンスはない。

(翻訳 安達啓子・監訳 森 亨; JCOHR)

翻訳公開日: 10年7月1日

ご注意: この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点があれば、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは毎月、改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。